

LaboNews vol.15

～ 検査・輸血細胞治療部からのお知らせ～

Labo Newsは富山大学附属病院 検査・輸血細胞治療部ホームページから閲覧できます。

<http://www.hosp.u-toyama.ac.jp/cila/index.html>

全科対象の心エコー予約枠を開設しました

全科より依頼可能な予約枠

循環器内科医師による読影・診断はなく、技師による報告になります。事前に、積極的に心疾患が疑われる場合や、心疾患の既往がある場合は、循環器内科にコンサルト下さい。

化学療法心機能	月・水・木	9:00・14:00
外来	月・水・木	10:00

私たちは心エコー検査時に
心電図も参考にしています。
12誘導心電図がない場合は
合わせてご依頼ください。

化学療法心機能評価について

心毒性のある抗がん剤を使用する場合、定期的な心機能評価が必要です。経時的な変化を比較、評価するためには、**ベースラインの心エコー記録が必須**です。**治療開始前に必ず依頼**をお願いいたします。

心毒性のある抗がん剤と心エコーフォローアップ頻度の目安

	一般名	治療中	治療後
アントラサイクリン系	ドキシソルビン	240mg/m ² を超えた時点 500mg/m ² を超えた時点	治療終了後6か月、12 か月、その後必要に 応じて
	ドキシソルビン塩酸塩リ ポソーム製剤		
	ピラルビン	400mg/m ² を超えた時点 800mg/m ² を超えた時点	
	ファルモルビン	360mg/m ² を超えた時点 900mg/m ² を超えた時点	
抗HER2抗体	トラスツマブ トラスツマブエムタシン	3か月ごと 治療終了時	治療終了時にLVEF/GLS の低下がなければ フォロー終了
HER2以外の分子標的薬	レンパチニブ パゾパニブ など	治療終了時	
免疫チェックポイント 阻害薬	イビリムマブ ニボルマブ など	治療終了時	

心エコーでの評価項目と診断基準

評価項目	基準値
LVEF(m-Simpson法)	LVEFがベースラインよりも10%低下かつ53%を下回る
GLS	ベースラインと比較しGLSが相対的に15%以上低下 抗がん剤投与後のGLSの相対的な低下が8%未満であれば心毒性は認めない



日本超音波検査学会精度保証施設として認定！



当部は今秋、日本超音波検査学会が今年度開始した「超音波検査の精度認定制度」に基づく、精度認定施設として認定されました。これは検査の標準化と検査精度が十分に保証された施設を認定する制度であり、今回の審査では全国で53施設が認定されました。

心臓・腹部・血管・体表領域での認定は当院が北陸地方で唯一となります。

超音波検査は各診療科からの要望が強く、当部ではその要望に応えるべく昨年度より順次、超音波検査予約枠を拡大しております。検査体制拡大にあたり、検査室としての『質』を外部機関からも保証されることが重要と考えISO15189の認定取得と併せて本認定取得を目指しました。私たちは本認定取得を励みとし、これからも超音波検査技術の研鑽を続け若い世代へ技術を継承すると共に、益々飛躍する超音波検査室を目指してまいります。

今後とも患者様や医療従事者にとってより良い超音波検査を提供できるようスタッフ一同取り組んで参ります。超音波検査に関して要望やご相談などございましたらお気軽にお問い合わせください。

生理機能検査室主任 塩崎真弓



北陸唯一



検査案内第9版発行しました



検査・輸血細胞治療部 検査案内 第9版を発行しました。
検査は、測定だけでなく検体採取からすでに始まっています。
正しい検査結果を出すためにも何か不安になった時には是非開いてみてください。

検査案内は、電子カルテの運用マニュアル(運用関連)及びサイボウズのファイル管理(検査・輸血細胞治療部)から閲覧できます。

